

診療報酬調査専門組織・入院医療等の調査・評価分科会の設置について

1. 目的

「平成 30 年度診療報酬改定における中医協答申書（平成 30 年 2 月 7 日）附帯意見」において、入院医療については「入院医療機能のより適切な評価指標や測定方法等、医療機能の分化・強化、連携の推進に資する評価の在り方について引き続き検討すること」、「より適切な評価に資するデータ提出項目の追加やデータ提出を要件化する対象病棟の拡大等について引き続き検討すること」とされ、DPC 制度については「DPC 制度以外の入院医療とともに、DPC 制度の適切かつ安定的な運用について、引き続き検討すること」等とされていること、及び、平成 30 年 5 月 23 日中医協総会で了承された分科会の再編・統合の方向性に基づき、DPC/PDPS を含む入院医療等の診療報酬上の評価検討にあたっての技術的課題に関し、専門的な調査及び検討を行う分科会を設置する。

2. 検討事項

- （１）DPC/PDPS の導入の評価及び影響の検証を含む入院医療の診療報酬に関する技術的な検討
- （２）DPC（診断群分類）、医療機関別係数等に関する調査研究・結果分析等を踏まえた技術的な検討
- （３）データ提出加算の提出データ、医療ニーズやアウトカム等の指標等に関する調査研究・結果分析等を踏まえた技術的な検討
- （４）その他、入院医療の診療報酬に関する技術的な検討に際して必要な事項等

3. 委員構成

別添 1 の委員名簿のとおり。

4. 運営

- （１）別添 2 の診療報酬調査専門組織運営要綱のとおり。
- （２）なお、技術的な検討に必要な調査研究に関わる事項の作業については、分科会を構成する委員のうち、分科会長が指名する委員がその作業を行う。

(別添 1)

診療報酬調査専門組織・入院医療等の調査・評価分科会
委員名簿

氏 名	所 属
いけだ しゅんや 池田 俊也	国際医療福祉大学医学部公衆衛生学 教授
いけばた ゆきひこ 池 端 幸彦	医療法人池慶会 理事長
いしかわ ひろみ 石川 広己	日本医師会 常任理事
いはら ひろのぶ 井原 裕宣	社会保険診療報酬支払基金医科専門役
おがた ひろや 尾形 裕也	九州大学 名誉教授
おく ひろみ 奥 裕美	聖路加国際大学 看護学研究科 准教授
かわかみ じゅんいち 川上 純一	浜松医科大学医学部附属病院 教授・薬剤部長
かんの まさひろ 神野 正博	社会医療法人財団董仙会 理事長
すがはら たくま 菅原 琢磨	法政大学経済学部 教授
たけい じゅんこ 武井 純子	社会医療法人財団慈泉会 相澤東病院 看護部長
たみや ななこ 田宮 菜奈子	筑波大学 医学医療系 教授
はやしだ けんし 林田 賢史	産業医科大学病院 医療情報部 部長
まきの けんいち 牧野 憲一	旭川赤十字病院 院長
まつもと よしゆき 松本 義幸	健康保険組合連合会 参与
むとう まさき 武藤 正樹	国際医療福祉大学大学院 教授
やまもと しゅういち 山本 修一	国立大学法人千葉大学医学部附属病院長

診療報酬調査専門組織運営要綱

(所掌事務)

第 1 条 診療報酬調査専門組織は、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、次の各号に掲げる事項等について、専門的な調査及び検討を行う。

1 D P C 導入の評価及び影響の検証等を含む入院医療等の評価

~~2 入院医療等の評価~~

2-3 医療機関のコスト

3-4 医療技術の評価

4-5 医療機関等の消費税負担

5-6 その他の技術的課題

(組織)

第 2 条 診療報酬調査専門組織は、常時、診療報酬調査専門組織に参加し診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し意見を述べる委員（以下「本委員」という。）100名以内及び本委員に対し、必要に応じ個々の技術的課題について参考となる意見を述べる委員（以下「専門委員」という。）90名以内により構成する。

2 本委員及び専門委員にはそれぞれ保険医療専門審査員をもって充てる。

(分科会の設置等)

第 3 条 診療報酬調査専門組織には、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、専門的な調査又は検討を行うため、第 1 条に定める事項について分科会を設置する。

2 分科会長は、その分科会を構成する本委員の中から互選により選出する。

3 分科会長は、分科会の事務を総理し、分科会を代表する。

4 分科会長に事故があるときは、その分科会を構成する委員のうち分科会長が指名する委員がその職務を代行する。

(定足数)

第 4 条 分科会は、本委員の 2 分の 1 以上の出席がなければ会議を開き、意見の確認を行うことができない。ただし、第 6 条に規定する意見書の提出があった委員は出席したものとみなす。

(専門委員の会議への参加)

第 5 条 専門委員は診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、分科会長又は本委員が必要と認めた場合に限り、会議に参加し、意見を述べることができる。

(欠席委員の意見提出)

第6条 本委員又は専門委員は、やむを得ない理由により出席できない場合は、当該議題について予め意見書を提出することができる。

(開催)

第7条 分科会は、必要に応じて開催するものとする。

(審議の公開)

第8条 分科会の審議は公開とする。ただし、分科会長が必要と認めるときは、審議を非公開とすることができる。

(庶務)

第9条 診療報酬調査専門組織の庶務は保険局医療課において処理する。

(補足)

第10条 この要綱に定めるもののほか、分科会の議事運営に必要な事項は分科会長が各分科会に諮って定める。

附 則

この要綱は平成15年7月1日から施行する。

附 則（所掌事務の追加及び委員の増員の一部施行）

この要綱は平成18年7月1日から施行する。

附 則（組織の改編）

この要綱は平成23年10月1日から施行する。

附 則（所掌事務の追加）

この要綱は平成24年6月1日から施行する。

附 則（所掌事務の追加及び委員の増員の一部施行）

この要綱は平成24年7月1日から施行する。

附 則（所掌事務の変更）

この要綱は平成30年5月23日から施行する。

入院医療に関する分科会の再編・統合について(案)

1. 背景

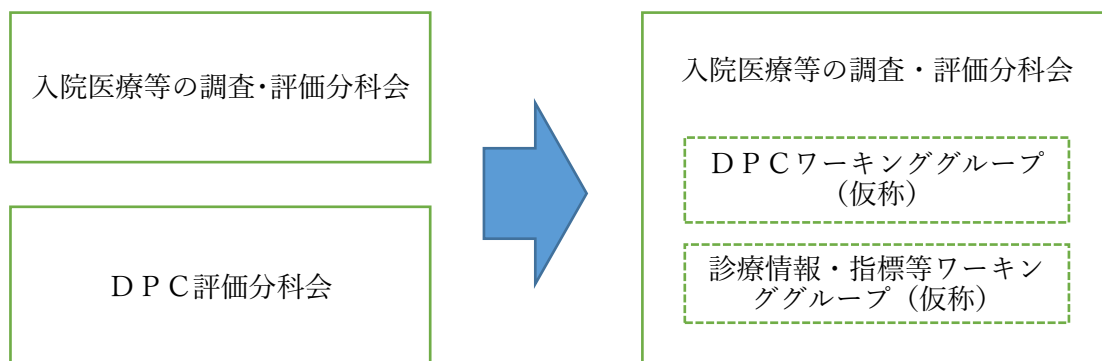
- 現在、入院医療に関する診療報酬の技術的検討の場として、入院医療等の調査・評価分科会とDPC評価分科会の二つの分科会がある。
- 二つの分科会は、中医協診療報酬基本問題小委員会の下、診療報酬調査専門組織の中に位置づけられている。分科会の検討事項は、調査専門組織に付託されている技術的課題のうち、それぞれ「入院医療等の評価」及び「DPC導入の評価及び影響の検証等」となっている。
- 今回改定において、入院医療の評価体系が見直されたこと等により、重症度、医療・看護必要度などの入院医療の評価指標、データ提出の内容に関する事項、短期滞在手術等基本料に関する事項や後発医薬品の使用など、二つの分科会の両方に密接に関連する検討事項が多数存在している。

2. 対応(案)

入院医療の診療報酬の技術的課題については、入院医療に関する二つの分科会(入院医療等の調査・評価分科会とDPC分科会)の両方に関連する議題が複数あり、それらは一体的に議論する必要があることから、以下のように、二つの分科会を再編・統合してはどうか。

2-(1)再編のイメージ

二つの分科会を一つに統合した上で、分科会における技術的な検討課題の議論を、より効率的に進められるよう、分科会の下に専門的な視点からの調査・分析を行うワーキンググループを設置してはどうか。



現 行

再編後のイメージ

2-(2) 各会議体の設置等

入院医療等の調査・評価分科会は、現在の分科会と同様の位置づけとし、ワーキンググループは、当該分科会の検討事項のうち特に調査研究に関わる事項の作業を行い分科会に報告する作業グループと位置づけてはどうか。

(ア) 入院医療等の調査・評価分科会

【設置趣旨】 入院医療に関する診療報酬の技術的課題の検討を行う。

【構成】 入院医療に関する臨床及び学識の有識者

【検討事項】

- 1) 入院医療の診療報酬に関する技術的な検討事項
- 2) ワーキンググループ(後述)からの調査研究・分析結果等を踏まえた技術的な検討
- 3) その他、入院医療の診療報酬に関する技術的な検討事項

(イ) ワーキンググループ

【設置趣旨】 入院医療等の調査・評価分科会の検討事項のうち、特に調査研究に関わる事項の作業を行う。

【構成】 入院医療等の調査研究に関わる専門家(臨床、研究、社会、経済等)

【検討事項の例】

- 1) DPC(診断群分類)、医療機関別係数等に関する調査研究・結果分析
- 2) データ提出加算の提出データ、医療ニーズやアウトカム等の指標等に関する調査研究・結果分析

2-(3) 構成員

- 新たな分科会の構成員については、入院医療の診療報酬に関する技術的事項を横断的に議論する場となることから、現在の入院医療等に関する調査・評価分科会の委員構成を基本に、再編してはどうか。
- ワーキンググループについては、現在の分科会の構成員から、各検討事項に関連する調査研究や結果分析に関する作業を行う専門家を中心に再編してはどうか。

参考：診療報酬調査専門組織運営要綱（抜粋）

（所掌事務）

第1条 診療報酬調査専門組織は、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、次の各号に掲げる事項等について、専門的な調査及び検討を行う。

- 1 D P C 導入の評価及び影響の検証等
- 2 入院医療等の評価
- 3 医療機関のコスト
- 4 医療技術の評価
- 5 医療機関等の消費税負担
- 6 その他技術的課題

(参考)

DPC 評価分科会 構成員

氏名	所属
池田 俊也	国際医療福祉大学教授
石川 広己	日本医師会 常任理事
猪口 貞樹	東海大学高度救命センター所長
井原 裕宣	支払基金医科専門役
緒方 裕光	国立保健医療科学院研究情報支援研究センター長
金田 道弘	社会医療法人緑社会理事長
川上 純一	浜松医大付属病院薬剤部長
川瀬 弘一	聖マリアンナ大学小児外科教授
小林 弘祐	学校法人北里研究所長
舌間 康幸	日本健康医療福祉情報システム工業会(JAHIS)
瀬戸 泰之	東京大学消化管外科教授
福岡 敏雄	倉敷中央病院救命センター長
伏見 清秀	東京医科歯科大学医療政策情報分野教授
藤森 研司	東北大学医療管理学教授
箕浦 洋子	兵庫県立尼崎総合医療センター副院長・看護部長
美原 盤	公益財団法人脳血管研究所付属美原記念病院
○山本 修一	千葉大学医学部付属病院長
渡辺 明良	聖路加国際大学 法人事務局長

(○:分科会長、五十音順、敬称略)

(参考)

入院医療等に関する調査・評価分科会 構成員

氏名	所属
池田 俊也	国際医療福祉大学教授
池端 幸彦	医療法人池慶会理事長
石川 広己	日本医師会 常任理事
岡村 吉隆	和歌山県立医大 理事長・学長
尾形 裕也	東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授
神野 正博	社会医療法人財団薫仙会理事長
菅原 琢磨	法政大学経済学部教授
武井 純子	相澤東病院看護部長
田宮 菜奈子	筑波大学医学医療系教授ヘルスサービスリサーチ分野
筒井 孝子	兵庫県立大学経営研究科教授
林田 賢史	産業医大医療情報部長
藤森 研司	東北大学医療管理学教授
本多 伸行	健保連理事
牧野 憲一	旭川赤十字病院長
○武藤 正樹	国際医療福祉大学教授

(○:分科会長、五十音順、敬称略)

中央社会保険医療協議会

総会（昭和25年設置）

報告

専門部会

特に専門的事項を調査審議させるため必要があるとき、
中医協の議決により設置

診療報酬改定結果 検証部会

所掌: 診療報酬が医療現場等に与え
た影響等について審議
設置: 平成17年
会長: 松原由美(早稲田大学人間
科学学術院准教授)
委員: 公益委員のみ
開催: 改定の議論に応じて開催
平成24年度4回
平成25年度2回
平成26年度6回
平成27年度4回
平成28年度3回
平成29年度3回

薬価専門部会

所掌: 薬価の価格算定ルール
を審議
設置: 平成2年
会長: 中村洋(慶應義塾大学大学院
経営管理研究科教授)
委員: 支払: 診療: 公益=4:4:4
開催: 改定の議論に応じて開催
平成24年度8回
平成25年度13回
平成26年度3回
平成27年度13回
平成28年度13回
平成29年度15回

費用対効果評価 専門部会

所掌: 医療保険制度における
費用対効果評価導入の
在り方について審議
設置: 平成24年
会長: 荒井耕(一橋大学大学院
経営管理研究科教授)
委員: 支払: 診療: 公益: 参考人
=6:6:4:2
開催: 改定の議論に応じて開催
平成24年度8回
平成25年度7回
平成26年度8回
平成27年度10回
平成28年度5回
平成29年度11回

保険医療材料 専門部会

所掌: 保険医療材料の価格算
定ルールを審議
設置: 平成11年
会長: 関ふ佐子(横浜国立大学大
学院国際社会科学研究院教授)
委員: 支払: 診療: 公益=4:4:4
開催: 改定の議論に応じて開催
平成24年度1回
平成25年度10回
平成26年度4回
平成27年度9回
平成28年度1回
平成29年度12回

報告

小委員会

特定の事項についてあらかじめ意見調整を行う必要があるとき
中医協の議決により設置

診療報酬基本問題 小委員会

所掌: 基本的な問題についてあら
かじめ意見調整を行う
設置: 平成3年
会長: 田辺国昭(東京大学大学院
法学政治学研究科教授)
委員: 支払: 診療: 公益=5:5:6
開催: 改定の議論に応じて開催
平成24年度5回
平成25年度2回
平成26年度7回
平成27年度9回
平成28年度3回
平成29年度7回

調査実施小委員会

所掌: 医療経済実態調査につい
てあらかじめ意見調整を
行う
設置: 昭和42年
会長: 野口晴子(早稲田大学政治
経済学術院教授)
委員: 支払: 診療: 公益=5:5:4
開催: 調査設計で開催
平成24年度4回
平成25年度1回
平成26年度3回
平成27年度1回
平成28年度3回
平成29年度1回

聴取

意見

診療報酬調査専門組織

所掌: 診療報酬体系の見直しに係る技術的課題の調査・検討
設置: 平成15年 委員: 保険医療専門審査員

■DPC評価分科会

会長: 山本修一(国立大学法人千葉大学医学部附属病院院長)

■医療技術評価分科会 時期: 年1回程度

会長: 福井次矢(聖路加国際病院院長)

■医療機関のコスト調査分科会 時期: 年1回程度

会長: 田中滋(慶應義塾大学名誉教授) (平成29年8月18日退任)

■医療機関等における消費税負担に関する分科会

会長: 荒井耕(一橋大学大学院経営管理研究科教授)

■入院医療等の調査・評価分科会

会長: 武藤正樹(国際医療福祉大学大学院教授)

聴取

専門組織

薬価算定、材料の適用及び技術的
課題等について調査審議する必要
があるとき、有識者に意見を聴くこ
とができる

薬価算定組織

所掌: 新薬の薬価算定等について
の調査審議
設置: 平成12年
委員長: 秋下雅弘(東京大学医学
部老年病学教授)
委員: 保険医療専門審査員
時期: 4半期に一度の薬価収載、
緊急収載等に応じて、月1
回程度

保険医療材料等専門組織

所掌: 特定保険医療材料及び対外
診断用医薬品の保険適用
についての調査審議
設置: 平成12年
委員長: 小澤壯治(東海大学医学
部医学科領域主任教授)
委員: 保険医療専門審査員
時期: 4半期に一度の保険収載等
に応じて、月1回程度

費用対効果評価専門組織

所掌: 医薬品及び医療機器の
費用対効果評価について
調査審議
設置: 平成28年
委員長: 田倉智之(東京大学大
学院医学系研究科特任教授)
委員: 保険医療専門審査員
時期: 1年に数回程度

作業グループにおける当面の作業（案）

1. 背景

- 入院医療等の調査・評価分科会の下に、調査研究に関わる作業を行うためのグループを設置することとなったことを踏まえ、各グループ（DPC/PDPS 等作業グループ、診療情報・指標等作業グループ）において、作業すべき当面の課題について、分科会において整理する必要がある。

2. 作業グループの分担と当面の作業

5 月 23 日中医協総会を踏まえ、各作業グループの分担及び当面の作業は下記の通りとしてはどうか。

（1）DPC/PDPS 等作業グループ

1) DPC/PDPS の運用に関する事項

- ・医療機関別係数のフォローアップについて
- ・DPC/PDPS の対象病院の要件について（平均的な診療実態から外れている医療機関の取扱い等）

等

2) DPC 退院患者調査に関する事項

- ・DPC 退院患者調査における報告内容について
- ・病院情報の公表の取組について

等

3) その他 DPC/PDPS に関する事項

（2）診療情報・指標等作業グループ

1) 診療実績データ（DPC データ）の分析に関する事項

- ・診療実績データ（DPC データ）等を活用し、医療内容の評価指標や指標測定のための手法等に関する調査研究・分析

等

2) データの利活用のあり方に関する事項

- ・診療実績データを提出する病棟の種類が拡大したことを踏まえた DPC 退院患者調査における報告内容について

等

3) その他、データ提出に係る診療情報や指標に関する事項